

衣笠



●滝頭公園

基礎データ

【人口】6,003人(H21.3.31現在)

【世帯】2,489世帯(H21.3.31現在)

【面積】約673ha

【公共施設】加治保育園・赤石幼稚園・衣笠小学校・
渥美農業高校・田原警察署・田原市消防署・田原福
社センター・田原デイサービスセンター・田原授
産所・田原斎場・滝頭公園

【文化財】藤七原湿地植物群落

【主な産業】商業・農業

衣笠校区は…

昭和60年に衣笠小学校の開校とともに発足し、今年で25年を迎えた。田原市の中枢部に隣接し、市街地の役割を担う中で、さらに宅地開発も進み、平成4年4月からは赤石地区も加わって7地区で構成されている。生活環境は利便性に富み、自然環境にも恵まれている。環境保全への意識も高く、里山づくりも盛んである。

今、住みよい校区づくりを実現するために、校区全体でまちづくりを進めている。

自然の恵み

栄枯盛衰はあるが、東海一の規模と言われた藤七原湿地植物群落のシデコブシ自生地は、3月下旬に開花のピークを迎える。



●シデコブシ

4月には、滝頭公園を中心に通称1万本の桜が咲き誇り、毎年「桜まつり」が盛大に行われる。ドウダンツツジやミツバツツジの花も観賞することができる。

清谷川上流や庄司川では、ゲンジボタルの飛翔が見られ、5月下旬の最盛期には一夜で2000匹を超えるホタルが乱舞し、人々の目を楽しませる。20年を超える住民の地道な努力の結果である。

初夏、1000本近くのササユリが滝頭公園・学習の森に咲き、市民館を中心とした保全活動も活発に行われている。



●ササユリ

四季を問わず、衣笠の自然を堪能するために多くのハイキング客



●昨年のハイキング大会

が訪れるが、とりわけ、紅葉の季節の滝頭一帯は見ものである。市民館主催の「衣笠自然歩道ハイキング大会」は、多くの参加者で賑わっている。自然の恵みに感謝したい。

郷土の偉人

江崎邦助巡查夫妻

衣笠小学校の学芸会では、毎年6年生による劇「江崎巡查物語」が上演され、感動の涙を誘っている。

コレラが大流行した明治19年、巡查は渥美半島西部を巡り、医師らと協力してコレラにおののく住民を説得し、防疫対策を行った。田原への帰路、コレラに発病したことに気づいた江崎巡查は、街へ入れば皆に感染すると考え、加治町稲葉の掘っ立て小屋にこもった。妻のじうは巡查の元に向けつけ、看病の末自らも発病し、若き二人の命は露と消えた。

殉職地には凜として慰霊碑が建っている。命をかけて人々をコレラから守った偉人として、末長く語り継ぎたいものである。



●江崎巡查夫妻の慰霊碑(加治町)